

夕刊七月廿四日



定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年五拾圓
廣告料 五圓以上 二行五拾圓 一行三拾圓
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 東京市神田區平河町三丁目五番地
電話 六二〇〇
印刷所 東京市神田區日町三丁目三番地
電話 六二〇〇

近頃の感想

谷口安比呂

(一)

金と云ふは、無けりや無いで何うにか遣りくりも出来るらしいが、有ればあるで、是で足りたと云ふ事も無いらしい。アメリカの自動車玉フオード第二世いは「我家には財産二十億圓金の使ひ場に困るだらうと言はれるが、其んなことは無い、實は未だ足りないものである。例へば自動車の材料も他より買ふ様では合理的と言へ何故なれば、いざといふ時首をしめられるからである。よつて原料生産を自家經營するとして銅石炭等などの山は漸く手に入れたが、皮革にせよゴムにせよ、鋼鐵にせよまた多大なる額を他より買入れて居る。よし餘つた金を使ふにしても少し慈善心を起して一つの悪病、たとへば癩病の様なものを世界から驅逐しようとするには、先づ醫療設備として、十億圓位投げ出さねば成らぬ」と斯くて彼は一職工の服を着て追はれる如く働いたのである

日本人等は何うも島國的で金持に對してよく思はんのじやないか。而し其んな事では偉大なる實業家が生

れる筈なく、世はドンブリの背くらべのみで面白無からうから、一つ金持を妬むなんてケチな事を止めて彼等に羽を伸ばさせ、充分活動させれば、失業救済も出來有る事は、まともつた献金もさせ得るんじや無いかと近頃私は考へてゐる。

僕は近頃文字を研究するにつれ活字の誤植が一層きらひになつた。近頃は平ありの新聞も餘程良くなつたとと思ふ。而し元はモドク誤植だらけの新聞もあつた西洋には殆んど誤植が無いさうである。尤も彼地はアルハベットで、二十七文字の組合せだから簡單だが日本語は複雑で東京の大新聞でも時々やらかす。

ノート

鯉節は光澤があり即合せてカチ／＼音のするのが上等青かびの出た物は枯れていない證據

何んでも無い様な誤植も考へて見ると重大なので、ジャーナリストは、人の生命や名譽まで文字で扱ふのだから、間違つたら濟まないし、又汗みづくで書いた寄稿家にも申譯ないと言ふ譯。一例を挙げれば、馬目といふのを、目を鹿にかへたら何うか、馬鹿となる。

今度は一字よけいに入れ

て見る。野間清治と言へば日本一の雜誌王、講談社長

【朝】煮豆一枝豆せうゆ煮
【書】鯛めん鯛 三輪そ
うめん さらしね
【晚】煮肴一ぼくしなまり
ぶしなす

として有名であるが、野間の間に呂を入れたら何うか郎呂間〇〇となる、とんでもない話だ。

平高野 町島澤 堂斷定 前所家 地番一前 地所家 鑑定 百數相 人事 地事 家相 鑑定

七月廿五日 壬辰八白友引收
【一】白 金談談普請昇給商
利等萬事吉兆を得る日なれ
ば猛進凶【二】黒 病氣病難に
心配のある日なれば自己の
健康も守りて萬事慎しむが
吉【三】碧 深身の七底に落ち
て助けを呼ぶ様な事あれば
火災水難に注意【四】緑 離別
死別印形書付と火災水難眼
病に注意なさい【五】黄 新金
蒔直しの念が起るも家内不
一致の爲延にす怪俄に注意
【六】白 金談談望事共到大
吉の日なり只婦人の口舌に
注意【七】赤 目に見て手に入
らぬ金も本日入る又目上賢
者より引立を受ける日なれば
氣位高振るな【八】白 如何致
さんと氣を揉む勿れ勇氣を
振へば應援が出る【九】紫 集
金に遠行し好果を得るも正
路を踏まざる時は落し穴が
ある【米と珠は御來所を乞

新 續 盤

魚問屋

店理代平命生本日本最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電) 目丁四平

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

夏!

カメラファンの活躍季
山の自然美!!!
海の曲線美!!!
カメラに納めた其快味
海へ山への御旅行にゼヒ
良く寫るので評判の
MS カメラを
◇ 新型カメラ各種澤山入荷 ◇
平 町 前
いづみや玩具店

貨切の●●●

御用命は!!!
獅子吼(四四九)ノ勢デ
マツサキ
眞先ニ……………(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!
平 町 前
阿部石炭商店
電話三七番

吸入用酸素純度99%

度量衡
モノサシ
マ ス
ハカリ
体温器
寒暖計
秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス、
關内藥局
電話四〇番

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌
平町新川町廿七(電話四六四)

○内臓外科	○整形外科
○脳外科	○皮膚科
○婦人外科	○性病科
○一般外科	

寫真材料一式販賣致シマス

開業

入院室 完 備
手術室 完 備

もむ讀を字文 流風たま

平町に初めての 采朝活字...到着

此の活字のうまみは、異様にして高尚！優佳にして自由！
實に希少な字相であります。

貴下の御名刺と
御書状に御使用
願ひ上げます。

.....(本見).....

織田家支那人
木下藤吉郎

尾張國愛知郡中村
電話掛無線電番

暑中御見舞申上候

常磐毎日印刷株式會社

平町長橋町
電話六三〇番

月曜是非

苦熱の試験準備

二三日前に第一小學校
では早くも明年の中等學校
入學志望生徒に對して模擬
試験を行つたといふ。
身の置き場にも苦しむ此
の暑熱の眞ッ最中に、受験
兒童の指導に當るる先生
方の御苦勞も察するに餘り
あるが、綠濃く草木の伸び
繁る如く、兒童の心身も發
育今正に旺んな折柄、獨り
机に噛み付いて、試験鬼に
責めさいなまれる生徒達の
汗みどろの姿を見て轉た憐
憫の情を起さない者はな
らう。

兒童の受験準備は腰々問
題になる處であるが、文部
當局も既に其弊を悟り、制
度を改めて「入學試験」は
「成績考査」となつた。
そして平常の成績も考査

て參酌するとの理由に據り
て節制すべきな詰め込み主
義の準備教育は、是れを絶
對に廢止すべしと、當局よ
り各校に向つて布達されて
居る筈である。

然るに此の受験準備緩和
の布達は弊履の如く踏みに
じられ、各校競つて依然と
して準備教育に餘念がない
「教育」といふ尊貴な立場に
身を置く者が、國家の意圖
方針を遵奉せず、兒童の心
身に過重な悪影響あるを知
りつゝ、平然として改めざ
る大膽不敵な行爲を社會は
何んと見る？

然も夫れが郡教育會長と
して本郡教育界の首班にあ
る會我氏の校長たる平第一
小學校に於て、公然行はる
此の事實を見て、吾人は
懷疑の念を深めずに居られ
ない。

一人でも多くの入學率を
示し度いとの衷情はよし

訴へざれば所期の目的を達
し難しといふにあらば、一
体平常は何をやつて居るの
かとの反問も起る、又學校
間の競争心理に基くもので
あるとすれば各校申合せで
全然試験準備を廢止すれば
自然此の弊害は解消すると
思ふ、苦熱に際し準備教育
の除幕を見て、會我郡教育
會長に是等に關し一考を望
むや切なるものがある。

教員庭球申込

既報
來る八月三十日磐中コ
に於て開催される濱三郡小
學校教員庭球大會の申込み
締切りは來る三十一日であ
るが本日迄の申込に左の六
組である

(赤井第二)山崎-安倍
金子-班目 松本-松本
多 白坂-加藤(勿來)小
澤-菅野 眞船-正木

六萬圓の魚紛末機

磐城水産工業が据付

石城郡小名濱町磐城水産工
業會社では今回農林省の補
助二萬圓を得六萬圓の鰯加
工機ミーキン魚粉末機を購
入し近く据付を行ふ筈であ
るが同機は乾燥を要せずに
生魚が直に製精されて肥料
になる便利なものであると

平稅務署が取扱ふ 低資五十萬突破か

既に申込み三十萬圓

平稅務署では本年より新規
に取扱ふ事となつた大藏省
の普通事業資金及び高利債
借替資金、土業資金等
の借入れ申込みは去る廿日
迄に高利債借替が十八萬四
千二百圓、普通事業は七萬
千七百圓、土木事業が四萬
四千圓、合計二十九萬九千
五百圓に達し來月十五日の

菜種共同販賣で 仲買人は大打撃

仲買人は大打撃

既報石城郡農會では名農村
菜種栽培者の爲めに共同販
賣を行ふべく勤誘した結果
千七百八十四俵の多數出荷
を見たので明廿五日午前十
時より平農倉庫にて共同
販賣を行ふ事になつたが現
在菜種相場は百片一俵九圓
二十錢と云ふ高値を見て居
るが是れを直接農家に入込
んで七圓五十錢前後の安値
に取引して利を見て居た仲
買商人には大打撃を受ける

櫻ヶ岡總會

來月二日に

磐城高等女學校櫻ヶ岡總會
會は來る八月二日午前十時
より母校作方室に於て開催
すると

郡下兒童競技は 十月廿九日と決定

十月廿九日と決定

▼排水工事に伴ふ配水分

通勤看護婦見習生募集

一、募集人員 拾 名
一、資格 高等小學校卒業以上
御希望ノ方ハ履歷書特參ノコト

磐城共濟病院

◇山羊分讓いたします。

夏期中自動車料金値下

夏期中沼ノ内、薄磯、豐間、江名方面
行乗客の御便宜を計り左の通り料金値
下げ致します。

片濱料金

沼ノ内 二十五錢
薄磯 二十五錢
豐間 三十錢
江名 四十錢

片濱乗合營業者

期間七月二十五日迄八月三十一日迄

締切迄には五十萬を突破す
るものと見られて居る

布設換の件
▼道路改修に伴ふ配水管
布設換の件

▲國道側溝工事に伴ふ給
水管伏越工事の件

▲好問川揚水の件

▲飯野八幡神社手洗水無
料給水請願の件

石城圖書講習 石城
郡下各小學校教員の圖書講
習會は來る二十七日より二
日間勿來小學校に於て開催
されるが講習科目は段米の
圖書教育及び小學校圖書教
育一般にて講師は青山師範
教諭赤津隆助氏であると

▼磐城炭役付避暑 石城
郡内鄉村磐城炭礦會社役付
會主催全従業員五百餘名は
去る廿二日丑の日に小名濱
海岸に於て海水浴を行つた

大當りに

人氣ふつ騰!

縣下野球戦に

平商警中相次ぐ大勝

昨日の縣下中等學校野球大會に於て安積中學を十對零田村中學を十四對二のスコアで敗かした平商チームは本日午前八時より白河中學と對戦コンデーシヨン頗る良く

白00100010013
一二三四五六七八九
平53100020011

二時半閉戦したがいづれ劣らぬチームとして一進一退の大接戦を演じ結局
師30000000003
一二三四五六七八九
警300000100037

た此結果午後三時よりは警の中對平商、福中對若商の準決勝戦が開始され皆

折角の

厚意無し

面會方の説諭願
平町南町五一金須徳次郎さんは幼少の頃から事情あつて實母謙田サダ(六)さんと別居して成長し現在では相當の店主となつたので實母を迎へて共に暮さんと母の實家仙臺市小田原北一番丁謙田正茂方へ出掛けたが面會を拒絶されたので其筋に母との面會方の説諭を願出た

驛頭萬歳の渦

優勝選手歸る

熱狂裡の平商健兒

昨日若松城下會津工業コーに於て開催された縣下中等學校庭球大會に出場し連戦連勝遂に決勝戦に於て警中と戦ひ四對零のスコアにて優勝の榮冠を擔つた平商選手安島木田組、塚本本多組は本日室原部長と共に平着午後六時二十二分にて意氣揚々歸平したが驛頭には學校關係其他多數の出迎人が雲集し萬歳々々を浴せて熱狂の渦を卷いた

勝つ

警中が

警中對福師の對戦はけふ午前十一時より開始され午後

同窓會の役員

平町小學校同窓會は過般第一小學校に於て開催の際役員改選を行つたが左の如くである

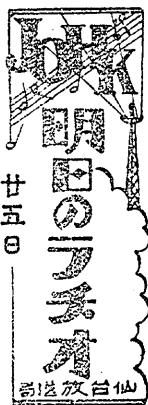
四倉増築上棟

石城郡四倉小學校の増築工事は去る廿一日午後一時盛

幼兒溺死

自宅の前で

石城郡澤渡村大字島内字山神八七鶴吉三男鈴木保治郎(三)は去る廿二日正午頃自宅前溜池で水遊中轉落溺死した



明日のラジオ

今晚の部

後六〇〇 子供の時間
お伽漫談 山野一郎
後六二五 将棋實戦(一)
後七三〇 産業ニュース
後八〇〇 講演「靈山と

海に行つた儘

歸らぬ余吉少年

父親が心配の餘り捜査願

石城郡内郷村大字綴字濱井場居住山田留之助二男余吉(二)假名は父親が去る廿二日の警炭主催小各濱海水浴に行くに當り自分も行き度いとせがみ叱られても聞かず單獨で小名濱へ出掛けたが昨廿三日になつても歸宅せぬので本日父親から平署に捜査願ひを出した

森永社長

講演延期

平町材プラレスト教會にては既記の如く森永製菓會社社長を迎へて基督教講演會を催す筈であつたが同社長病氣の爲め來平見合せとなり病氣全快する迄講演會を延期すると

蠅取の當籤者

平町長橋町いはき新報社主催蠅取デーの當籤者は左の如くである(一等五圓商品券)白銀町

明日の部

前六三〇 歴史講座(一)
前七三〇 夏期ドイツ語講座(一)三浦吉兵衛
前九一〇 料理献立「鯛の泡雪とろろ」宮腰了三郎
前一〇三〇 家庭講座
「家庭に於ける洗濯の合理化」東京工業大學教授 菱山衡平

長橋分團座談

來る

九月平町に開催される濱三郡産業青年實務協議會に平町代表として長橋分團の小野誠三郎君が出席する事になつたので同分團にては此事を誇りとし去る廿二日夜松屋に同君を中心とする座談會を開いた

無監札の女給

平署に集めて訓示

平署では過般市内に於ける卅二軒のカフェ業者風規取締を一齊に行つた處女給百三十餘名のうち六十名近く無監札の者が居る有様なので本日午前十時より無監札女給及び營業者を平署會議室に集め横山署長より訓示を與へたがそれでも届出を爲さぬ者はドン／＼處分

裁判所だより

警崎村々會議員吉田直文氏が選舉違反として略式罰金八十圓に處され不服として正式裁判を申立た事件の公判は本日午九時より平區裁判所に於て關口判事係

平職案紹介所報告

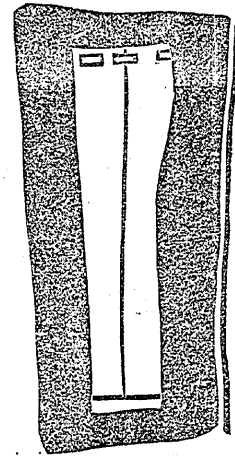
回人を求める方

- △指物徒弟 十六才 尋卒 仕着小遣(平町某)
- △女中 五十迄 尋卒 月十圓(四倉町某)
- △商店雜役 十八才 尋卒 仕着外五圓(茨城縣某)
- △子守 十三以下 委細面談(湯本町某)
- △回職を求める方
- △雜役 二十四才 高卒 給料面談(飯野村某)
- △料理人 四十才 尋卒 給料面談(小名濱町某)
- △トラック助手 二十一才
- △乙商卒 給料面談(内郷村某)
- △菓子職 二十七才 高卒 給料面談(宮城縣某)

西村屋薬局
平町二丁目 電話三

特約店 **西村屋薬局**
平町二丁目 電話三

恐ろしい疫痢の流行期!!!
◎毎年六月始めより十月と申します
◎死亡率統計百人中六十五人以上として居ます
まづ豫防に経口免疫の
北里研究所 **疫痢内服ワクチン**を
製造
価格 幼児一人分三十銭 大人一人分五十銭
(文献進呈)



白ツボン

夏々 夏々
輕快…… 颯爽……
かゝる。白ツボンは
貴方の容姿を
よりシークに
より活動的に

グラニット……1.20ヨ
白セル……3.00ヨ
上等白ギヤバ……4.00ヨ
白綿ギヤバ…….95ヨ

ふかや洋服店
平三 電203

門專科病柳花外
院醫科外村木
際橋目丁五町平
九〇三話電

御愛乗下り
シボレーに!
そは先驅者なり

美味! 芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

吉田眼科病院
平町屋町、電話六八番

靴白い安おでクーシ
見るからに
涼味爽やかな!
防水白リンネル靴
細型、ブル型、角型
三、〇〇ヨリ四、〇〇マデ
オリソピツク型……四、八〇
菊地靴店
平四丁目

鈴木醫院
日本齒科 醫學士 鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

齒科口腔外科
醫學士 鈴木喜政

平新川町十九
木村病院
電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學士 内木宗八
内臓外科
整形外科
泌尿器科

市原醫院
平町田町(電話二一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎
外科 一般、婦人科 市原陸郎
外科 梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

咽喉專門
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

特約販賣店

一丁目 湯本町 東雲堂藥店
二丁目 常盤屋時計店
三丁目 古山電氣商會
新川町 大谷時計店
南町 木村電氣商會
常磐ラヂオ商會

原町 浪江町 植田町 柴田電氣商店
東雲堂藥店 白石藥局 磐城屋商店 松本支店

暗い行燈から
常磐卸元 **日東商會**
平町白銀町(電話四二八番)